

新年のごあいさつ

平成31年 迎春

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、市の重点戦略「あらお未来プロジェクト」を進展させるため、市民の皆さまとの対話や協働を重視した取り組みを進めました。

「あらお「しあわせ」探しトーク」や「花のみち」プロジェクトを通して改めて強く感じたことは、市民や関係団体の皆さまとの協働なくして、荒尾のすばらしいまちづくりは実現できないということです。

本年も、市民や関係団体の皆さまとの対話を大切に、共に歩む市政運営に努めます。そして、市民の皆さまと「心をひとつにして」未来のまちづくりを行う「あらお未来プロジェクト」を着実に進めていきます。

競馬場跡地などを活用した南新地地区画整理事業では、中心拠点の形成を目指して交通利便性の高さや景観、広大な空間を生かし、未来志向のまちづくりを進めます。基本構想を策定中の「道の駅」や「総合的な保健・福祉・子育て支援施設」の整備を検討するほか、マンションや住宅などで定住人口を確保するとともに、集客力の高い企業の誘致を行うことで雇用創出や交流人口の拡大を図ります。

本年は、環境省が進めている「荒尾干潟水鳥・湿地センター」が蔵満海岸に開館します。干潟関連イベントや体験プログラムを用意して干潟の魅力を発信していきます。懸案となっていた新市民病院の建設については、設計事業者との契約も終え、3年

明けまして、おめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃より市議会の運営に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

新市民病院建設の設計委託につきまして、昨年、プロポーザル方式による事業者選定を行い最優秀提案事業者を決定し、2022年6月の開院に向けて契約締結が行われました。診療室や病室など、快適な環境を提供するための工夫を考案して、個別案を選定する作業に入っています。

競馬場跡地などの活用につきましては、南新地地区画整理事業を進めながら、交通利便性の高さや景観など広大な空間を生かした基本構想の策定によって、定住人口の確保や雇用の創出・交流人口の拡大を図り、都市の基盤となる「未来志向のまちづくり」が進められています。南新地地区の開発には、有明海沿岸道路の開通が重要となっており、今後とも、関係団体の皆さまと共に早期事業の着手に向けて協力を行っていきます。

熊本地震からの復興が進む中、「平成30年7月豪雨」や台風・地震などの大きな被害をもたらす自然災害が頻発し、災害対策の重要性が再認識されています。災害時における住民への情報伝達を迅速に行うための防災情報伝達システムの整備が急がれています。防災・減災対策の強化については積極的に努めていきます。

公共施設などの更新・統廃合・長寿命化

半後の2022年6月の開院に向け準備を進めます。

小中学校教室のエアコンについては、昨年中学校への設置を完了し、本年予定している小学校では、昨年の酷暑の状況を考慮し、夏休み期間に10校一斉に設置できるよう取り組みます。

また、近年全国で自然災害が多発している状況を踏まえ、本年は防災情報伝達システム設備導入の準備や防災訓練の充実などハード・ソフト両面から、防災対策の強化を図ります。

そして、新たなまちづくりの取り組みとして、職員が地域の中に入り、皆さまとの対話を通して、地域課題解決や地域振興を支援していく仕組みを創りたいと考えています。

本年は「平成」が終わり、新しい年号を迎える節目の年となります。皆さまと力を合わせ、新しい時代にふさわしい「しあわせ創生 あらお」を目指していきますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

荒尾市長 浅田敏彦

につきましては、市公共施設等総合管理計画により、2020年度までに個別の施設計画を策定し、2035年度までの公共施設の更新・集約化・複合化を行って、公共施設などの適正な活用を図っていくこととされています。また、小中学校教室のエアコン設置につきましては、全中学校への設置を完了し、小学校10校への補正予算の承認を行い、本年の夏休み期間に一斉に設置することとされています。

市議会は、議員18人全員がそれぞれの課題を市民の皆さまと共有し、課題解決に向けての施策を検討し、議会という場を通じてしっかりと役割を果たしていきます。本会議のインターネット配信や議会報告会を継続し、議会基本条例に基づき、開かれた議会の推進に努めます。

最後になりますが、2019年が皆さまにとりまして、明るく豊かな一年でありますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

荒尾市議会議長 小田龍雄



荒尾市長 浅田敏彦



荒尾市議会議長 小田龍雄